れからこそが本番

生命がけで闘った人々の座談会

座談会出席者

▼**川口雪枝さん**　坑底座り込みに参加。ご主人の浩さんとの間に娘さん三人。

▼**隈元良子さん**　上京団の一員として活動。ご主人の道男さんとの間に一男一女。

▼**清水栄子さん**　坑底座り込みに参加。ご主人の正重さんとの間に一男二女。

▼**松尾恵虹さん**　上京団の一員として活動。ご主人の修さんとの間に娘さん二人。

（いずれもCO患者家族の会の人々）

▼司会は編集部。なお、座談会は九日に組合本部の一室で開催。

三本線信じ頑張った

いつまでも忘れません……

編集部　私たちはこんど、CO特別法の制定をひとまず勝ちとりました。もちろんこれは、きわめて不十分なものです。でもこれからの闘いにとって、一歩前進した踏み台をすえたという意味からすれば、やはり一つの尊い勝利だとされると思います。しかもその勝利を可能にしたものは、過去三年間にわたる苦しみに満ちた闘かいを土台に、直接的にはまたとはあり得まいCO家族みなさんの決死の坑底座り込みに加え、労仂省玄関でのハンガー・ストライキであることはもちろんです。さっそくですが、まず決死の坑底座り込みに参加された方から、尊いご経験を聞かしてもらいたいと思いますが?……。

清水さん　私たちが座り込みました七目置きは連絡坑道みたいな、ごく安全なところだったものですから、はじめ〝こんなところに座り込んでよいのか?〟と思いました。もっと切羽にちかいところに頑張る覚悟で、選炭ベルトぐらいブッ止めるつもりで降りていったもんですから……。それでも汗がポタポタ落ちるし、〝やっぱり坑内だなア〟と、つくづく思ったですね。

川口さん　大きな岩が落とされたときは、びっくりしました。原万田の人たちが、その下あたりに寝とったんですから、ゾッとしました。ここでこんなだったら、〝もっと条件の悪いところで仂く人たちはどんなだろう〟と、やっぱり思わざるを得んだったですよ。

会社は兵糧攻めたくらんだ

編集部　そんな大決心をもって坑底に座り込んだみなさんを、会社は兵糧攻めにしようとさえしたんですから。

清水さん　会社にその考えのあったことは、たしかに読んだ新聞の記事からも知りました。ですけど、私たちは糧道を断たれるなどとはぜんぜん思ってもみませんでした。

食糧を運んでくださる組合員みなさんの目元は真剣でした

編集部　え、どうして?

川口さん　（ひときわ誇りと確信に満ちあふれる笑顔で）三本線を信じましたから。

清水さん　「団結」「抵抗」「統一」の三本線でつらぬかれた組合がある限り、私たちのいのちは絶対に守られる――そのことをだれ一人、信じて疑うものはいなかったからですね。事実、坑内の現場にさがってゆかれる組合員一人一人が、真剣になって食糧をはこんでくださったんです。ほんとにおいしかった。

川口さん　みなさんは、坑口の厳重なピケを排除して、食糧をはこんでくれました。だいじな工具は手にもって、それを入れる工具袋にご飯を入れて……。そしてピケの場で見破られて取りあげられると、「なんばするか！それはオレが食う弁当だ」と、とりかえしてきた人もありました。

清水さん　その弁当を袋から出して私たち一人一人に渡して下さるときの、組合員みなさんの姿の真剣さ。私たちの顔を見てくださる目が「どうですか？つかれていませんか？」と問うているようで、いま思い出してもうれしくってたまらん気持ですね。

三本線を信じて地底で座り込み

第二の人々とも……気持が通じ合った

編集部　ところで、第二組合員たちの皆さんたちへの接し方はどうだったでしょう?

清水さん　何日目でしたか、その第二組合員の人がそっとよってきて「がんばらんの。もう少し

あとになるにしたがって、親切にして下さる第二組合員の方がふえていきましたが、私たちの方としましても一と二の区別なしに、「ご苦労さんです」「ご安全に」とはげましていましたけど。

たちから、坑底のお母さんたちのところへ手紙がくるようになったときも、うれしかったでしょう?

川口さん　それはもう……。

清水さん　よろこびましたねみんな。お互いに懐中電灯を持ち合いながら、その光の下で返事を書いているところを見ますと、本当に涙が流れました。

▼…この座談会で、隈元さんも松尾さんもしきりに社青同東京の人々の熱意あふれる協力ぶりを口にしていましたが、こんどのCO特別措置法の制立闘争に寄せられた総評・炭労・社会党・社青同など各方面のあたたかいご厚意は、決して忘れることができず、CO家族たちは「お世話になった人々にお礼も述べず帰ったことが、こころ残りでなりません」とまで語っています。

カマキリ共がんばれ

坑底すわりこみの報に泣く上京団

編集部　この三川鉱坑底における、CO家族のみなさんの座り込みの知らせを、上京中の人々はどんな気持で聞かれましたか?

隈元さん　そのニュースを聞いたとき、まず頭にきた思いは、これは無茶なことをしてくれたもんだ、ということでした。比較的丈夫な上京者に比べて、現地に残ったやせた方の人たちが、わずかな懐中電灯をたよりに、暗い坑道をとぼとぼと降りてゆく姿を想像しましては、あんまり泣いたおぼえなんかない私が、泣きました。時がたつにつれ、あとで感謝の気持にかわっていきましたけどね。

松尾さん　私はそこで失敗をやって、支部長からおこられたつですたい。心配のあまり「カマキリども骨を接ずる。がんばれ」――ついこんな電報をうってしまったでしょうが。ところが「何がカマキリか」というわけで……。

編集部　それはその通りかも知れませんからね。

思わぬ人から温いカンパが

松尾さん　しかしその坑底座り込みで、上京団の気合いもいちだんとあがったわけですよ。その坑底座り込みにつづいて、上京団が労仂省玄関でハンストにはいったでしょう。ここでハッキリと東京都民の態度がかわったですね。タスキ・ハチマキで都民に呼びかける私たちに「あんたたちは、坑内にはいった主婦たちといっしょの人たちかね?」と、道ゆく人々がよってくるようになり、「俺も労仂者だから」と、タクシーの運転手の人が、名も告げずにハンスト組のところにやってきて、五百円のカンパをおいていったり……

隈元さん　三井ビルで呼びかけている私たちに、「自分はここのビルの三井船舶につとめている者ですが」と、五千円札をカンパ

んでした。これは私たちがゲリラ作戦で集めたお金です。少いですけど、私たちがせいいっぱいやったものです」と、カンパをもってきてくれたのには、ありがたくって言葉もなかったですよ。「ムダにせぬように、使わしていただきます」というのが、せいいっぱいでした。

隈元さん　カンパといえば、上野で都民に呼びかけていたときのことです。身体障害の人々――男二人女二人の少年の人々がやってきました。見るとメクラの人もいましたが、何かボソボソと相談していました。やがてお互いにポケットをさぐっていましたが、いくらかずつのお金をだし合って、カンパしてくれたんですよ。その上署名までも。メクラの人の分はほかの人が書いてくれて。しかもその四人の人たちのそのときの表情の明るかったこと。そのときばかりが私たちみんな泣いたですよ自分たちの身の不自由さが、私たちの苦しみにそれほどの共感をよせることになったのでしょうけどあの人たちのことは忘れられませんね。

編集部　それもやっぱり、たたかってこられればこそですよ

人道は口先ばかり

自民代議士のオドシと対決

編集部　仂きかけの方はどうでした?

松尾さん　組合関係の戸別訪問による呼びかけ、会社への抗議、国会関係への仂きかけ、そのほかいろんな行動をつみ重ねてきましたけど、とにかく全般的に関心が薄かったですね。同じ組合といっても、白ろう病患者をもつ全農林などは別にして、ほかはまったく人ごととしか見てくれなかったですよ。国会関係では、私たちが訪問しました自民党などひどいもので、私たちが会いました社労委の黒木などいう自民党代議士は「端的にいうと、三池のCO家族があんまり騒ぐと、このCO特別措置法案は流してしまうぞ。俺はこれから大牟田にいってCO家族とも会うが、あんたたちの家族があんまりチャチャをいれると、いよいよ敵にまわるからな」――こんなオドシさえかけてきたったですよ。だからいうてやったですたい――「よかろう。直接見てくればよかろう」と。多くの者がいる前じゃ「人道的な見地に立って…」

わけですよ。

編集部　たしか、口べにもぬったと聞きましたが?

口べにぬって

さあ闘いへ…

松尾さん　とにかく、最低労仂省会館の掃除夫さんには見せかけなければなりませんでしょう。口べにをぬって、最大限服装もかえ、宿舎の出発時間もバラバラに組んで、「八時半までにもぐりこめ。そうして九時半に、大臣室前に結集する」こうきめまして、その朝いよいよ行動に移ったんです。その結果、みんなうまくもぐりこみまして、これはあとでわかったんですけど、時間までトイレのなかにかくれていた人もあるんですよ。（笑い）しかも、一つのトイレに四人も。（大笑い）うたがわれてはいけないから、かわりばんこにオシッコしては、とき水をジャー。（大笑い）そして時間がくるのも待ち切れず大臣室の前に集まりまして、やっとこさ交渉したんです。「大臣に会わないうちは絶対帰らない」と。夜になって、塚元書記長が「きょうはこれでひきあげることにしよう」いうと、何がなんでも大臣に会うんだという決心していたみんなが、こんどは塚元書記長に食ってかかるいきおいでした。いまから考えますと、三池現地における坑底座り込み、プラス労仂省玄関前のハンスト、それにこの激げしい、しかもピシッと統制のとれた行動――こういったたたかいが、たとえ不十分なものであったにせよ、CO特別措置法を制定化させたのだと信じています。

法の成立知っても……

うれしさなし

編集部　坑底座り込みといい、労仂省玄関前でのハンストといい、また上京団の連日の行動といい、ほんとにご苦労さまでした。そこでどうでしょう、いよいよ二十一日、この法が成立したときみなさんどんなお気持だったでしょう?

隈元さん　素直に申しましてなにか心にひっかかるものがあって、うれしいという気持は出てきませんでした。

川口さん　三池現地の私たちにしても同じことで、もろ手をあげてよろこぶ気持になれなかったですね。

清水さん　三川鉱正門にすわりこんでいた私たちのところに、新聞記者の人がやってこられまして「どうですか、まだよろこびがこみあげてきませんか。まだですか」と、何べんも何べんも聞きになさっても、ほんとにうれしさはなかったですね。

松尾さん　あの法の成立の一部始終を見守っていた私たちにしましても、その通りでした。国会議事堂を出て、労仂省玄関にいって、毛布にくるまってハンストをつづけてきた人たちを見たとき「ああ、三年八カ月は長かったなア」と思ったとたん、急に涙がふきだしてきて、抱き合って思いっきり泣きました。

川口さん　私たちもそうでした。支部長が鉱長室に座り込んでいた三十七人の人たちを、私たちのところにつれてきてくれたときはじめて涙があふれ出てきて「よかったね」「よかったね」と、お互いに手をとり合って泣いたですね。

会社は分断攻撃でくる

これからが重大問題

編集部　さて、そのような苦しかった闘いを経てCO特別措置法は一応成立したわけですが、しかし、その措置法には、たとえば「解雇制限」がハッキリと名文化されていないなど、多くの問題点がありますね。

松尾さん　問題点はたくさんですけど、私が一番警戒しなければならないと思う点は、これから二―三審がやってくるわけでしょう。それがおわった段階で、必ず家族の会が分断されてくることですよ。労仂大臣の答弁によりますと「軽易な労務に配転される者は七つに区分して障害補償を支給する」といいますから。

隈元さん　たしかにそれがあ

患者もあまえは絶対に禁物

隈元さん　それと、CO患者本人たちの考え方も、いまテンデンバラバラになっていますね。まわりの仲間からあたたかく守られてきたことに、どうもあまえているところが感じられてならんのですよ。これからますます大事になるというとき、果たしていまの態度でよかつじゃろうか。うっかりすると、世間からダンガイされることにさえなりかねない。それでは、三年八カ月の苦労が水の泡だが……。私はひとり心配しているわけです。

松尾さん　「自分はCO患者

は厳重に自戒してもらわんと、

松尾さん　とにかくCO家族が訓練員になったつもりで、患者規律を確立してゆくことです。軽症者の人たちは特にですね。

隈元さん　いまが一番大切なときです。「鉄は熱いうちに鍛えよ」といいますから。

編集部　法案自体にもたくさん問題点がありますが、それ以上に大事な問題点をよく明らかにしていただきました。組織全体として十分考えなければならないことです。なにぶんCO闘争は、これからこそが本番です。真の敵がいよいよハッキリしてきましたから、とにかく三井鉱山――こいつですね。ひとつ覚悟を改めて頑張